



京都の人はなすが好き

なすは元々インド原産といわれる熱帯性の野菜で、日本へは奈良時代にすでに伝わっており、1200年以上にわたり栽培されてきました。(注1)

京都府では賀茂なすが有名です。今回そんななすについて調べてみました。

初めに、平成28年の作物統計によると、出荷量は7,900tと上位にあり、近畿府県ではトップとなっています。(表1)

表1 平成28年産 なすの都道府県別出荷量

順位	都道府県等	出荷量 (t)	構成比 (%)
	全国	236,100	100.0
1	高知県	37,200	15.8
2	熊本県	28,400	12.0
3	群馬県	20,200	8.6
4	福岡県	16,500	7.0
5	茨城県	14,000	5.9
6	栃木県	11,800	5.0
7	愛知県	11,300	4.8
8	京都府	7,900	3.3
9	徳島県	7,220	3.1
10	大阪府	7,040	3.0

出典 農林水産省 作物統計

なすは、かつては夏の野菜でしたが、12月から6月には高知県、福岡県、熊本県などの暖かい地域のハウス栽培で冬春なすが、また7月から11月には茨城県、栃木県、群馬県などの露地栽培で夏秋なすが生産されています。(注2)

次に、年間の1世帯あたりの消費金額は、2014年～2016年平均、2017年～2019年平均いずれも都道府県庁所在市及び政令指定都市のなかで全国1位となっています。(表2)

さらに、家計調査(二人以上の世帯)から、なすに対する2014年～2019年の平均の月別支出金額をみると、全国、京都市とも多いのは8月であり、京都市では全国より190円程度多く支出しています。

また、支出金額が全国の月平均の164円以上となるのは、全国では5月から9月の間、京都市では4月から10月の間となっています。(図1)

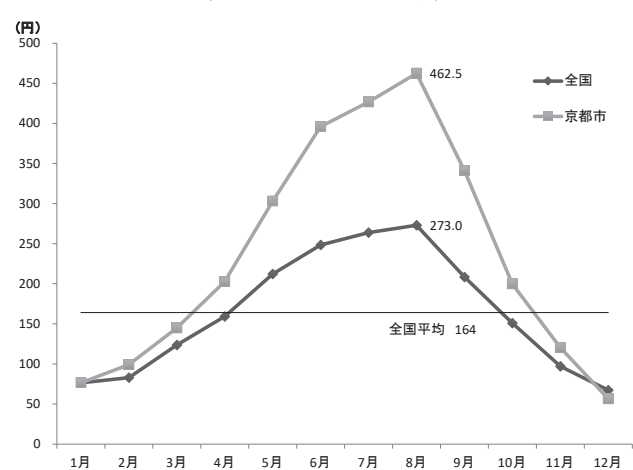
なすは焼く、煮る、炒める等いろいろな調理方法があります。秋なすのおいしい季節、遠くインドから日本へ渡ってきたことや、悠久の歴史に思いをはせながら味わってみてはいかがでしょうか。

表2 なすの消費支出金額 (単位:円)

順位	2014年～2016年平均		2017年～2019年平均	
	都市等	支出金額	都市等	支出金額
	全国	1,955	全国	1,971
1	京都市	2,743	京都市	2,913
2	新潟市	2,719	横浜市	2,695
3	横浜市	2,672	東京都区部	2,661
4	青森市	2,647	青森市	2,656
5	東京都区部	2,590	大津市	2,653
6	川崎市	2,575	秋田市	2,624
7	相模原市	2,517	山形市	2,533
8	大津市	2,477	さいたま市	2,431
9	福島市	2,388	川崎市	2,414
10	奈良市	2,326	千葉市	2,348

出典 総務省 家計調査(二人以上の世帯)

図1 なすの月別1世帯あたりの消費支出金額 (2014～2019年)



出典 総務省(家計調査)※6年平均に加工

注1 農林水産省子どもページ ナス「どこからきたの?」 https://www.maff.go.jp/j/agri_school/a_tanken/nasu/O1.html 参照

注2 独立行政法人 農畜産業振興機構「野菜ブック」 https://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000313.html